



帯広東ロータリー・クラブ会報

[2010-2011年度]

会長／加藤 昭治

幹事／梶川 融

会報編集 メディア委員長／川口 博之

■創立：1984年6月15日

■認 証：1984年6月18日

■例会日：毎週火曜日 12:30～13:30

■事務局：〒080-0013 北海道帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F TEL(0155)25-7347

■例会場所：帯広ワシントンホテル TEL(0155)23-5111

第1290回例会 (2011年6月14日※ 於 帯広ワシントンホテル)

点 鐘 会 長 加藤 昭治 君
開会宣言 S A A 大塚 正昭 君

ロータリーソング

我等の生業
四つのテスト

ゲスト紹介

嶺野 侑 (みねの すずむ) 様



会長挨拶

加藤昭治会長



こんにちわ、3月11日の東日本大震災からはや3ヶ月となりました。奥地から復興も進んでいるようですが、海岸線は中々進んでないようです。被災者はもとより、関連する地元の方々の疲れが相当溜まっているようですが、政府の対応の遅さで更に疲れが増しているように思います。

本年度も最後のプログラムとなりました。今日の卓話をいただきます嶺野侑先生は、帯広市議を5期20年、市長3代に

渡り勤め上げられました。保守系無所属議員として帯広市議会議員、更生保護法人十勝自営会理事長、帯広地区防犯協会連合会長等多くの公職に就いてこられました。ほとんどが無報酬・ボランティアでありまして、私たちロータリアンとして見習うことも多いと思います。また、元北海タイムスの記者を20年間されていたこともあり、十勝帯広の歴史を知る生き字引のような方だと思っています。先生にはこれまでいつも時間が足りなく、お話を終えてこられましたが、本日は講演のお話で多少オーバーしてもたっぴりと聞かせていただきたいと思います。以上申し上げまして会長挨拶といたします。

会務報告

梶川融幹事

・帯広東RC 次年度第2回クラブ協議会開催のご案内

日 時 平成23年6月20日(月)
午後6時

場 所 帯広ワシントンホテル

・帯広東RC 年度末最終夜間例会開催のご案内

日 時 平成23年6月28日(火)
午後6時30分

場 所 帯広ワシントンホテル

会 費 2,000円



プログラム

プログラム委員会

ゲスト卓話

嶺野 侑 様

「東日本大震災と関東大震災の共通性 昭和初期の十勝」

「関東大震災は動乱と戦争の序曲であった。今回の東日本大震災も今後の日本の形を考えていく出発点となるであろう。我々は歴史に学ばねばならない」

*震災後、昭和初期の不況、政治への不満の捌け口としての満州事変、5.15事件、皇道派對統制派の2.26事件から太平洋戦争にいたる過程の時代背景と、十勝・帯広のかかわりを興味深いエピソード(朝鮮総督であり第30代内閣総理大臣の齋藤實、北海道製糖、昭和天皇帯広行幸、音幌農場小作争議等)を交えてお話いただきました。



次回プログラム予定

6月21日(火) 「1年を振り返って」(理事会)

